



マトウラー仏坐像

インド・マトウラー 2世紀頃 マトウラー博物館(筆者撮影)

前号でお伝えしたとおり、紀元後一世紀の初めから中頃にかけてインドでは、ガンダーラ地方とインド内陸部デリー近郊のマトウラーの二つの地域において仏像の制作が始まりました。今号では、マトウラーで制作された仏像を紹介します。

この赤色砂岩で造られた仏坐像は、肩幅が広く力強い印象を与えています。右手は衆生の恐れを取り除き、なものをも畏れない力をあたえて救済する施無畏印を結んでいます。衣は薄く、右肩を露にして左肩のみを覆う偏袒右肩とよばれる着衣法をとり、線状で衣文を表現。頭髮は地髪部を剃りあげ、頭頂部の盛り上り肉髻は、巻貝型になっています。眼は丸く見開き、両頬をややつり上げることに、微笑を浮かべているようにも見えます。後ろには、供養者とみられる二人を従え、頭上には一対の飛天が散華をしています。

さて、一九七七年にマトウラー市郊外にあるゴーヴィンドナガルという所で、仏像の台座が出土しました。そこには「紀元後一〇四年に、世尊アミターバ仏の像が建立された」と読むことができ、銘文が刻まれています。インドでは、未だ一体の阿弥陀仏像も発見されていません。そのため、この読み方が正しいければ、二世紀にインドで阿弥陀仏信仰が存在した貴重な証拠となると学界でも注目されています。

題字：小山実千代（伯東寺坊守） 解説：中川正法（西蓮寺住職）



御笠組巡番報恩講を終えて

慶伝寺坊守

久保 龍子(釋淨恵)

昨年の十月二十七日・二十八日の二日間、十八年に一度の御笠組巡番報恩講を無事に厳修致しますことが出来ました。ひとえに組内の門信徒の皆様、ご法中、坊守様、仏婦、仏壯、若婦の皆様方のご協力とご支援の賜物と厚くご御礼申し上げます。顧みますと当日になって慌てることも多々ありましたが、次のお寺に伝えてよりよい巡番報恩講のきっかけになればと存じております。この大法要に組内の全ご法中、若院様の出勤のもと法要が厳修され、可愛らしいお稚児さんも華を添え、尊いご法話を組内の皆様と一緒に聴聞させて頂くというご勝縁に遇わせて頂きましたことは有難いことでした。これからも末永くこのご法要が続いて行きますことを念じますとともに、親鸞聖人のみ教えが広く深く伝わっていきますよう仏恩報謝にいそしみたく存じます。



ユウベル
積善社

筑紫斎場

太宰府市吉松4丁目6-1 (青葉台入口信号角)

☎0120-14-0789 (フリーダイヤル)

大規模葬から家族葬まで...

もしもの時に安心な...互助会会員募集中

(株)のがみ 善光会館 筑紫会場

筑紫野市杉塚6丁目11-1 Tel 921-4242(代)



誕生から浄土まで 起工式(地鎮祭)

人生の節目には、その意義をたしかにし、人間としての自覚を深めるため、宗教による儀式がもたれます。

しかし私たち真宗門徒は、そういう場合は、便宜や都合で他の宗教の儀礼を行ったりしないようこころがけましょう。

仏式の行事は、ただ形だけの儀礼ではなく、深い教えの裏づけにもとづいて、その人の一生を意義あるものとする計画とされています。

起工式の考え方は、こうして家を建てられるのも、有縁無縁の人々のお陰であり、ようやく工事の運びとなったご縁を感謝しようとする心です。

また、自ら襟を正し責任を持って工事に取り組み、この工事が安全に行われ、よい物件を完成させる事を仏前に誓う儀式でもあるのです。

浄土真宗における起工式は、仏光照護のもと機縁の純熟をよろこび、仏恩に感謝する儀式です。

(仏教壮年ハンドブックより)

我が家を新築するに当たり、前記の事を知り、ご住職に相談し起工式を行いご本尊をご安置し工事関係者と共に工事に入れるよろこびを阿弥陀如来さまにご報告申し上げました。

また、勤務先では、工事着工前に行う地鎮祭(神式)の相談があり施主様と話し合いをして仏式の起工式を執行することにしました。

当日は、ご本尊をご安置し工事関係者、地元住民等ご縁の人々と共に、ご導師さまのお勤め・法話をいただき工事着工のよろこびを分かち合いました。



起工式次第

- 一. 開式の辞
- 二. 住職焼香 (一同合掌礼拝)
- 三. 三奉請
- 四. 讚仏偈 (勤行中に関係者は焼香する)
- 五. 短念仏
- 六. 回向
- 七. 一同合掌礼拝
- 八. 住職挨拶
- 九. 閉式の辞



合掌礼拝の生活

ルンビニープラザ

お仏壇の **コガ**

太宰府店 (駐車場完備)

太宰府市青葉台3丁目27-4 ☎(092)923-8080

~大切な人を送る時、私たちができること~

ご葬儀を真心込めてお手伝いします

株式会社 **筑紫葬祭**

葬儀式場 **セレモニー筑紫**

CHIKUSHI

本社/セレモニー筑紫

〒818-0059 福岡県筑紫野市塔原東4丁目3-5

TEL 092-925-4444

FAX 092-925-4949



御笠組スタンプラリー

門徒推進員連絡協議会会長 安樂 國夫(釋徳智)

協議会の評議員会議で次年度の実践運動として、何に取り組むかの協議を数回に渡り話し合い最終結果として、スタンプラリーをご縁に各寺を参拝する事になりました。

内容は、二〇一八(平成三十)年度スタンプラリー冊子作成や記帳または寺印を押すこと、親鸞聖人の御正忌報恩講法要に参拝すること等を、十八ヶ寺のご住職に承諾していただくことを部門長にお願いしました。

本年度十月三十日に願心寺で開催した協議会の研修会でスタンプラリー要綱を説明したのち、御笠組各寺報恩講法要一覧表に基づき実践運動が始まりました。各寺の法要日が重なる寺や説明前に終了している寺もあり、十八ヶ寺を参拝するのは達成出来ませんでした。この実践運動も最初は、スタンプ冊子に証明を貰うだけの軽い気持ちで向き合っていました。各寺に参拝を重ねるうちに親鸞聖人報恩講の法話を聴聞しながら、源空(法然)聖人を本師として浄土真宗を開宗した親鸞聖人が示された「私の歩む道」への御恩報

謝の生活を味あわせていただきました。

私は、あと五ヶ寺を残すところとなりましたが、スタンプラリーの実践運動として取り組んだ評議員を始め門徒推進員の皆様に感謝を申し上げ、この取り組みは、浄土真宗門徒として大切なご聴聞ではないかと、この実践運動を振り返っています。

御同朋の皆様、所属寺外の山門をくぐり聴聞に出かけてははいかがでしょうか。

南無阿弥陀仏



<p>4 高照山 教門寺</p> <p>住持 花崎 益雄</p> <p>〒818-0073 筑紫野市塔原西1-3-8</p> <p>TEL. 092-922-2582</p> <p>Y818-0073 浄土真宗 門徒推進員連絡協議会</p> <p>~無量寿 無量光~</p> <p>いっせよ ぶにせよ</p> <p>あいの 心よ じんご</p> <p>南無阿彌陀仏 南無観世音菩薩</p> <p>▲ここにスタンプを押してください</p> <p>平成30年12月15日 参拝</p>	<p>5 光照山 願心寺</p> <p>住持 中川 清昭</p> <p>〒818-0046 筑紫野市山口843</p> <p>TEL. 092-922-2107</p> <p>Y818-0046 浄土真宗 門徒推進員連絡協議会</p> <p>縁肉とほ</p> <p>古い私も 新しい私の</p> <p>べめき合ひ</p> <p>筑紫野市大字山口843</p> <p>願心寺</p> <p>〒818-0046 092-922-2107</p> <p>浄土真宗 門徒推進員連絡協議会</p> <p>▲ここにスタンプを押してください</p> <p>平成30年11月20日 参拝</p>
---	--

<p>はしがき</p> <p>御笠組18ヶ寺にて、宗祖親鸞聖人のご命日を機縁として、阿彌陀さまのおみりを聴かせて頂く報恩講が営まれます。</p> <p>本年度より、門徒推進員連絡協議会では、実践活動として18ヶ寺の報恩講を訪ね、聴聞させて頂く御笠組スタンプラリー活動に取り組みことと致しました。</p> <p>合掌 御笠組門徒推進員連絡協議会</p>	<p>御正忌報恩講</p> <p>親鸞聖人の祥月命日(1月16日)をご縁に、七昼夜にわたり営まれる本願寺にとって最も重要な法要です。</p> <p>期間中、全国から多くの僧侶、寺院、門徒が参拝し聖人のご遺徳を偲ぶとともに、聖人のご教導によって良実のみ教えに遇えたご恩に報謝させていただきます。</p> <p>聴聞の心得</p> <ul style="list-style-type: none"> 一、このたびの このご縁は、初幸と思うべし 一、このたびの このご縁は、我一人のためと思うべし 一、このたびの このご縁は、今生の最後と思うべし
--	--

JA筑紫 誠心誠意を大切にします。もしものとき... 24時間承っております

筑紫農業協同組合 (JA筑紫 共栄会 やすらぎ会館)

〒818-0057 福岡県筑紫野市二日市南2-1-3
TEL(092)924-3027/FAX(092)928-1394

組合員・NEWにじの会 会員募集!!

御墓石・記念碑・造園・石材加工・その他石工
設計・施工
石のことなら気軽に御相談下さい。

有矢ヶ部石材

代表取締役 矢ヶ部 清隆

筑紫野市大字本道寺106-4 ☎ 924-5574
(FAX) 924-8212



本願寺の由来や歴史、 親鸞聖人のご生涯について

本願寺は、浄土真宗本願寺派の本山です。正式には「龍谷山本願寺」といい、その所在する位置から「西本願寺」、または親しみを込めて「お西さん」とも呼ばれています。

浄土真宗は、鎌倉時代の中頃、親鸞聖人(1173-1263)によって開かれました。

親鸞聖人は1173(承安3)年に京都でお生まれになり、9歳の時、仏門に入り、比叡山で20年の間、厳しい学問と修行に励まれました。29歳の時、浄土宗の開祖源空(法然)聖人のお導きにより「南無阿弥陀仏」とお念仏申す人生を歩む身とされます。

親鸞聖人はその後『正信念仏偈』(『教行信証』行巻末の偈文)や「和讃」等を著され、「南無阿弥陀仏」によって生きとし生けるものすべてが平等に救いとられるという阿弥陀如来の本願のはたらき(=他力本願)を多くの人々にお伝えになりました。そして、1263年1月16日(弘長2年11月28日)、90歳の時、京都でご往生されました。

親鸞聖人のご往生後、聖人の末娘である覚信尼さまは、聖人をお慕いする人々と共に京都東山大谷に廟堂を建て、聖人の遺骨と影像を安置し、この廟堂が本願寺の基となりました。

第8代蓮如上人(1415-1499)の時にみ教えが各地に広く伝わり、第11代顕如上人(1543-1592)の時に豊臣秀吉から土地の寄進を受け、多くの門信徒の尽力により現在の京都堀川六条へ寺基が移されました。以来、全国の門信徒によって大切に護持され今日に至ります。

境内には阿弥陀堂、御影堂の両堂をはじめ唐門や書院、飛雲閣など国宝や重要文化財に指定された建造物があり、1994(平成6)年12月には「古都京都の文化財」として世界遺産に登録されています。



親鸞聖人ゆかりの地



日野誕生院【親鸞聖人ご誕生の地】
【アクセス】地下鉄東西線「石田駅」で京阪バスに乗り換え、「日野誕生院前」にて降車。

〒601-1417 京都市伏見区日野西大道町19
☎075-575-2258



角坊【親鸞聖人ご往生の地】
【アクセス】地下鉄東西線「太秦天神川駅」にて降車ののち、徒歩5分。

〒615-0091 京都市右京区山ノ内御堂殿町25
☎075-841-8735



大谷本廟【親鸞聖人のご廟所】
【アクセス】市バス(206-207号系統)で「五条坂」降車。土日・祝日・大谷本廟の法要行事日などは本願寺からの無料循環バスも運行しています。

〒605-0846 京都市東山区五条橋東6丁目514
☎075-531-4171(代)

浄土真宗クロスワード

1		2		3		4
					5	
6			7			
		8				9
	11			12	13	
14			15		16	17
			18			19
20					21	

解答は8ページです

タテのカギ

- 浄土宗の開祖。親鸞聖人は、〇〇に出会い、専修念仏に帰依しました。
- 故人が亡くなった日と同日の月違いのこと。また、それを縁として行う法要のこと。
- 空の思想を大成して大乘仏教の教学の基盤を確立しました。中観学派の祖。
- 法要や儀式の中で用いる銅合金製の打物で、やや深く肉厚の鉢型をしたもの。
- 如来十号の一。供養を受けるのにふさわしい徳のある者という意味。
- 種類、等級、分類のこと。性質や能力などによって同類のものを集めたもの。
- 種類、等級、分類のこと。性質や能力などによって同類のものを集めたもの。
- 有と無、肯定と否定、存在と非存在。
- 機と法（教法）のこと。
- 朝廷が僧侶に与えた位階。日本にのみ見られる制度です。

ヨコのカギ

- 他力というのは、如来の〇〇〇なり
- めぐみ、恩恵などの意。
- 故人の毎年の祥月命日のこと。またそれを縁として年毎に行う法要のこと。
- 卍などとも書く。あらゆる功德を意味する吉祥の印のこと。
- 貪毒・瞋毒・〇〇の三つの煩惱のこと。三毒の一。真実の道理に無知なこと。
- むさぼり執着すること。十二因縁の第八支。
- 受用のこと。作用・力用のこと。
- 直接の原因となる力のこと。
- 有相に対する語。すがた・かたがいないこと。
- 〇逸。おこたりにまけること。また、勝手きままにふるまって仏道に背くこと。
- 無為に対する語。さまざまな因縁（原因と条件）によってつくられた生滅変化するもの。
- 教・行・証のこと。教とは、釈尊の説いた教説、行とは、教説にもとづいて修める行法、証とは行法を修めることによって得る証果のこと。
- 仏の慈悲によって引導されること。

※『浄土真宗辞典』引用



はせがわ

つなぎます。心と、いのちと、人。

霊園・墓所・墓石のご相談も承ります。

太宰府インター店 太宰府インターグッディそば ☎092-503-0800

草苑 (SOUEN)

美しが丘 TEL 092-919-0880 FAX 092-919-0881
草苑 筑紫野市美しが丘北3丁目12-4

御笠組青少年育成部の活動 子ども報恩講

光伝寺衆徒 木村 大行(釋大行)

御笠組青少年育成部では、年二回の行事を行っております。昨年でございますと、8月1日〜2日に会所の願心寺をお借りして、願心寺日曜学校と合同で「夏の子ども一泊研修」を行いました。そこでは初めて会つ子達と遊び、時に喧嘩をしたり、みんなで仏様の前に座りお勤めや御法話を聴いたりしてそれぞれ色んな事を経験していました。

12月26日に大願寺にて「子ども報恩講」が



ありました。夏と同じく御仏参しお供えするお餅を自分達でつきゲーム等し遊びました。どの行事も会所の婦人会や壮年会の皆様へ支えて頂き今を生きていると言ふ事を子ども達共々感じさせて頂いている事であります。

この子どもたちを対象とした取り組みは、お寺つて行きにくい場所ではないと言ふ事。また今後も違和感なくお寺に来て貰いたいと言ふ願いも持ちながら行っています。

以前、ご門徒さんのお宅にお参りに行った際に、お孫さんがお仏壇の前に座つて私と一緒にのお勤めして居られました。その子は昔からのお寺の行事に参加していた子だったので何の抵抗もなかったようです。昔は家で祖母や両親がお仏壇で手を合わす姿を見て育つた方も多いと思いますが、近年は核家族化でその姿を見て育つ子も減つてまいりました。御笠組報を読んで下さった皆様も一度お子様やお孫さんを誘つて見て頂ければ幸いです。



街頭募金

2018年7月30日、天神駅前で熊本地震並びに平成29年7月九州北部豪雨にかかる募金活動を行い、たくさんの方のご支援をいただきました。



上下組へ義援金

2月13日に花園組織教化部長、小山副部長、伊藤仏教婦人会会長、渡辺副会長、鷺山組長の5人で上下組厳浄寺大内組長さまをお訪ねしました。そこで御笠組仏教婦人会で行つた街頭募金で集まつた38,904円やバス研修の残金など含めて、義援金として合計82,854円をお渡しいたしました。

その後、大内組長さまにご案内いただき、旧松末小学校を見ってきました。被災した泥だらけの壊れたピアノが置かれていました。

当時の土砂被害の凄まじさを垣間見たような感じでした。



仏婦・若婦合同バスハイク

10月4日(木)佐賀教堂・願正寺・佐賀幕末維新博覧会へ行きました。

本願方に
あひぬれば
…… 11

点字のお経本について

明福寺 鷺山 智英(釋智英)

点字とは『広辞苑』に「紙面に突起した点を一定の方式に組み合わせた視覚障がい者用の文字。現在世界各国に使用されている3点2行の字は、1829年フランスのブライユの考案。指先で触れて読み取る。日本では、1890年(明治23)石川倉次が翻案したものが行われる」と説明されています。

私たちの身の回りにも点字で表記されているものがあります。例えば、缶ビールの上に点字で「おさけ」とあります。ジュースと間違わないようにという配慮です。エレベーターに乗ると、開閉ボタンのところに「あけ」「しめ」と点字で書かれています。洗濯機などにも点字表記のものがあ

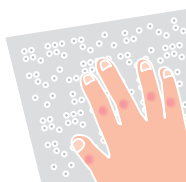
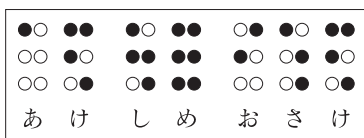
本願寺では視覚障がい者のために、点字でお経が読めるように、私たちが日ごろ使っている『日常勤行聖典』を点訳したものを作成し、希望者には無料で配布しています。

また、仏教婦人会総連盟では平成2年から、全国の点字図書館や盲学校等へ仏典童話などの点字本を毎年作成し寄贈しています。

福岡教区でも「本願寺点字ライブラリー・福岡」が点字本を作り、無料配布(二部有料のものあり)するという活動をしています。最近では『拝読 浄土真宗のみ教え』の点字本を教区内全か寺へ配布しています。

皆さんの身の回りに目の不自由な方がいらっしやったら、お寺にいけば浄土真宗に

ついでに点字本があるよ、と教えてあげてください。



法律相談

初回相談無料

毎週月曜日～金曜日

午前八時半～午後六時

※弁護士が相談に当たります

相談専用電話

(092)711-1034

○フラインジャーは必ず守られます。

問い合わせ 福岡教区教務所

○九九二七七一九〇八一

ピハ-ラ-ライン・福岡

こころの電話



相談専用電話
相談電話 (092)711-1432
毎週月曜日・金曜日 ※祝日は除く
午後1:00～午後4:30
フラインジャーは守ります
(相談内容)
浄土真宗本願寺系社会福祉推進協議会福岡支部

浄土真宗クロスワードの解答

ホ	ン	ガ	ン	リ	キ	キ
ウ	ツ	ユ	ヨ	ウ	オ	ン
ネ	ン	キ	ホ	ウ	ヨ	ウ
ン	マ	ン	ジ	グ	チ	
ア	イ	ユ	ウ	ユ		
イ	ン	リ	キ	ム	ソ	ウ
ノ	ホ	ウ	ウ	イ		
サ	ン	ボ	ウ	ヒ	イ	ン



編集後記

御笠組におきましては、前住職様・前坊守様方の往生が相次ぎ、寂しい一年余りでした。

「死」は必然といえども、毎日一緒に生活していた方がある日を境に居ないという生活は、寺族のものであっても身にこたえることでもあります。

先輩方が伝えてこられた法灯を私達はつげつぎ、次の方々にはしっかりとおとりつぎしていかなばとご縁をいただいたことでもあります。

これからも御笠組広報部では組報にて様々な事を伝えていきたいと思っております。

お仏壇のよーかどう
お仏壇・仏具のご相談はお電話を！
筑紫野市二日市中央通商店街
☎092-924-1111